

子どもの
お気に入り



球1万2000個の「たまごプール」は木質化率45%の快適空間。

園自慢の「木育ルーム」には木製の球を恐竜のたまごに見立てた「たまごプール」があります。1万2000個のヒノキの球すべてに自然塗料のキヌカ液剤をぬってあるため、乳児がなめても安心。年に一度、子どもや保護者と一緒にすべてをやすりで削り、みがいでいます。愛着を感じ、物を大切にすることを育むためです。「木育ルーム」は人がもつとも心地よいと感じる木質化率45%前後に計算され、設計された部屋。誰もがちょっとワクワクし、ホッと心がほぐれる空間です。

こどもみんなの
自慢



本物の黒板が学ぶ意欲を刺激する屋外のお絵かきコーナー

園庭の大きな木製遊具の下にある「黒板お絵かきコーナー」も人気の場所。本物の黒板とチョークが、文字や数を書く意欲を刺激します。以上児が先生役、未満児が生徒役となって学校ごっこを楽しむ姿もあり、異年齢交流もしげんと生まれます。折り紙や色鉛筆、セロハンテープなど、文房具が常備され、屋根もあるため室内と同様の製作あそびが可能。拾った葉を黒板にはって紙に転写したり、自然物にシールをはって動物に見立てたり、自由な発想を活かしたあそびが広がるスペースです。

ボクもワタシも

好きな場所!

第8回

各園における、子どものため、保護者のため、保育者のためのちょっとした環境づくりの工夫を紹介します。

今月の園

めぐみこども園（福井県福井市）

保育室内の
ちょっとした工夫



上下2段に設置した「壁面あそび」で0歳児も大興奮!

福井市にある「めぐみこども園」では「おもちゃふれあいミュージアム・東京おもちゃ美術館*」主催の講演会をきっかけに、保育に「木育」の理念を取り入れました。子どもたちの情緒の安定と豊かな感性の育成をめざし

木や自然と密接にかかわる「木育プロジェクト」をスタート。6年前に園舎の大規模リニューアルを行いました。園内には百年杉の無垢材やヒノキなど福井の県産材を多用し、グッド・トイ受賞の木製玩具も約300点常設。ゼロ歳児の保育室には、色や形、感触などで五感を刺激する壁面あそびを10種類設置しています。回す、押す、引っぱる、前後左右に動かす、音を鳴らすなど楽しい仕かけがいっぱいで、乳児たちも大興奮。玩具は発達段階を考慮して上下2段の高さに設置しました。上段では高月齢の子もが立ってあそぶことで脚力やバランス感覚を養い、下段では低月齢の子もが座ってあそぶことで集中力を高めています。

園の玄関ホールや廊下の壁にも、子どもの目線の高さに積み木のモザイクアートを多数設置しています。出す、入れる、積む、といった指先あそびを促すことで、腕や肩、足の協調運動など全身機能の向上につながっています。

園の紹介

学生時代にボランティアで木育キャラバンに参加した際、自然と深くかわり、木の魅力を一から伝える木育の理念に共感しました。ウッドデッキに出ればだしで駆けっこしていると、2歳児でもバツヤカエルなど小さな生きものの存在に気づき、アリやクモも踏まないよう気遣う等やさしい心が育ちます。天気が悪い日も子どもと一緒に、かっぱを着て園庭に出て、雨音を楽しむ時間が好きです。イヤイヤ期のむずかしさも面白いと感じられるようになってきました。

5年めの保育を楽しんでいます。



2歳児担当保育教諭
池谷 侑紀さん



1969（昭和44）年設立、2015（平成27）年園舎改装。定員165名、職員50名。

*東京・新宿区にある旧小学校校舎を活用した交流＆体験型ミュージアム。